

# 山口新聞

平成 24 年 8 月 31 日 (金)

NO. 20

農地・水・環境

## 守ろう地域の手に

20



継者不足が深刻化し、耕作放棄地も目立ってきた。このような状況の中で、農業用施設を維持していくには地域住民が連携した農地・水を守る共同活動が不可欠という考えから、2007年に内日農地環境保全会を設立した。

20の自治会と土地改良区が中心となり、農業用施設はもとより、農村環境の保全のため、「自分たちの手で守ろう内日の里」

今後、地域の連帯をさらに深め、伝統行事の継承や農業用施設の維持管理などを積極的に行い、「水と土里豊かな内日の里」を次世代に引き継いでいけるよう、農地・水の保全、向上活動を進めていく。

(会長、野村善治  
— 金曜日掲載 —)

【メモ】会長 野村善治  
治▽会員 283戸、農業者、土地改良区、自治会など▽設立 2007年4月19日▽事務局 下関市内日下748の1、下関土地改良区 083・2809・2566

内日地域は県道沿いに農地が広がる比較的平たんな農村地域で、1990年に完成した内日ダムを主要水源として稲作中心の農業を展開する市内屈指の穀倉地帯である。古くから伝わる

### 内日農地環境保全会 (下関市)

### 地域連携で守ろう内日の里



田屋集落の会員の皆さん



お田植え祭などの伝統行事にも積極的に取り組み、地域の連帯を深めている

継者不足が深刻化し、耕作放棄地も目立ってきた。このような状況の中で、農業用施設を維持していくには地域住民が連携した農地・水を守る共同活動が不可欠という考えから、2007年に内日農地環境保全会を設立した。